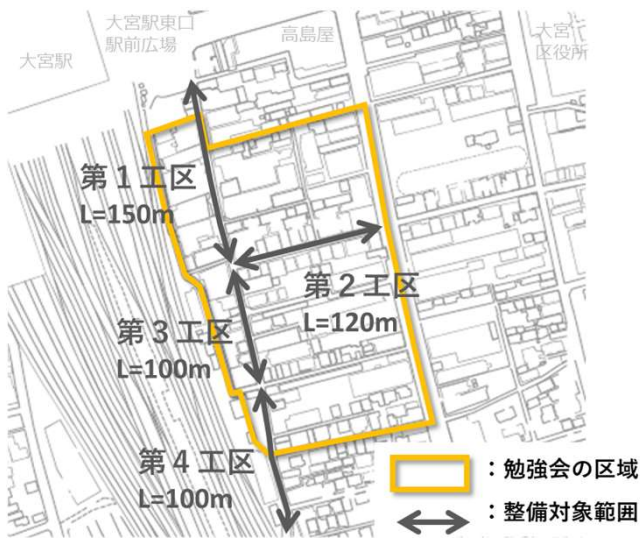


大宮南銀座における街路整備の骨子

骨子①：整備対象範囲

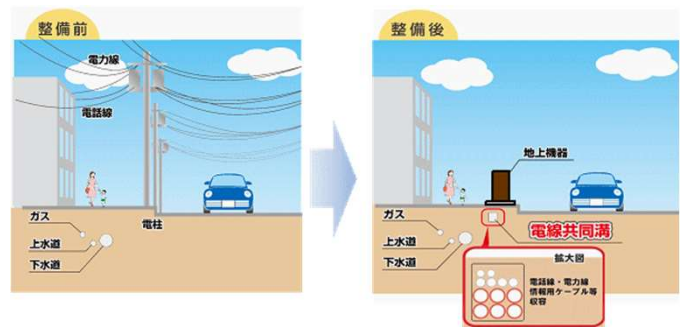
南銀通りと片倉新道の合計約470mを4工区に分けて、段階的に整備します。



骨子②：無電柱化（電線類地中化）

無電柱化（電線類地中化）により下記を実現します。

- 緊急車両の通行確保
- 都市災害の防止
- 快適な歩行空間
- 美しい街路景観

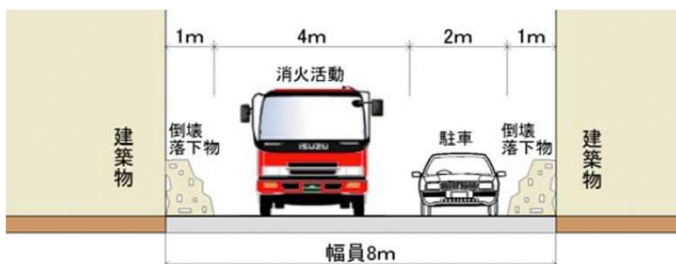


出典：国土交通省ホームページ

骨子③：道路拡幅（現在約5m→計画幅員8m）

災害活動が円滑に可能な幅員を確保するため、沿道の建築物の建替え時に道路中心線から一定距離（概ね4～5mを想定）をセットバックします（現在の道路幅は約5.0～5.5m）。

セットバックに伴い、規律ある街並みを誘導するとともに、容積率や道路斜線規制を緩和する制度の導入も検討します。



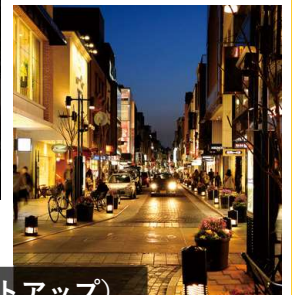
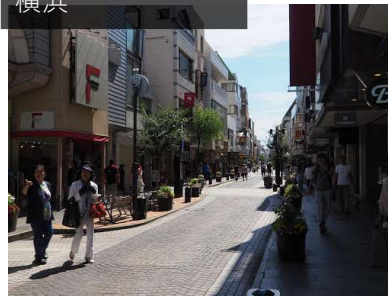
消防活動に必要な道路幅員イメージ
出典：災害に強い都市づくり・地区まちづくりの手引き（H17 ぎょうせい）

骨子④：道路整備（舗装・照明等）

高品質でファッション性の高い道路整備を行います。

照明等の選定にも配慮し、魅力的な道路空間を演出します。

元町商店街
横浜



元町商店街（ライトアップ）
横浜

舗装や照明の整備イメージ